

平成 24 年度教育活動の特色（抜粋）



○ノーチャイム（休み時間の終わりの合図のみ）

- ・時計をみて、行動することにより、自主性や主体性を育成します。学習内容により、90分の学習を行い、学習効果を高めます。

○授業時数の確保・ゲストティチャーの活用（標準時数より多く学習時間を設定します）

- ・国語・算数の時間を増やし、読み・書き・計算の基礎基本の学力を徹底します。
- ・道徳及び特別活動を各学年 40 時間の実施することにより、自己肯定感や自尊感情を育てます。さらに、多くの人と関わりを通して体験や経験的に学ぶ場を設定します。

○読書活動の推進

- ・年間 2 回の全校読書期間を設け、本から学ぶ心の豊かさ・情報収集の方法を身に付けます。おひさまのかい・図書ボランティア・学校図書館職員との連携を図り、よりよい読書環境を整えます。

○運動の日常化の推進

- ・毎週水曜日は外遊びの日として、全校で取り組みます。
- ・体力向上週間（体力テストにチャレンジ、持久走、縄跳びなど）
- ・運動カードによる積極的に運動に取り組もうとする児童を育成します。

○響き合える仲間作り

- ・ロング集会や縦割り班活動、兄弟学年の設定など、全校で異学年交流を行い、関わり合う場を多くしていきます。
- ・年 2 回の挨拶週間の取り組み、さん・くん付けで名前を呼ぶことなど、人も自分の大切にできる児童を育成します。

○学習指導法の工夫改善

- ・全学年で、算数のティームティチング（低学年）少人数指導（高学年）に取り組み、学び方の学習・個に応じた指導などを充実させます。

○家庭学習の推進

- ・学年×10分を目安に家庭と連携して、学習習慣の定着を目指します。

○6カ年の教育・義務教育9カ年の教育を見据えた連携

- ・校区別協議会や小中連携（開進第一中学校を核とした）を進めます。